

2020年 柳川市 10大ニュース

2020年の出来事を振り返ります。皆さんはどのニュースが印象に残っていますか。

1 新型コロナ感染拡大、3密回避と地域経済の復活を目指す with コロナの新しい取り組みに注力



小中学生1人当たり米5キロと海苔10枚などを配布



運航数が前年比7倍以上と好評だった「灯り舟」

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス。感染対策や小中学校の教育支援、中小事業者への経済対策など、市独自の緊急対策を7弾にわたって実施。「中小事業者へのがんばる応援金」や「子育て家族へのがんばる応援米・応援海苔」をはじめとする各種支援策で地域経済の振興を図るとともに、柳川観光V字回復へ向けて感染防止対策を図りながら修学旅行誘致や夜の川下り「灯り舟」、水郷柳河の月フォトコンテストなどに取り組みました。

2 市民文化会館ついに開館

昭和46年に開館し49年の歴史に幕を下ろした「市民会館」。文化芸術拠点としてのバトンを引き継いだ市民文化会館「水都やながわ」が12月20日にオープンしました。市民と共に成長していく施設を目指していきます。ぜひお立ち寄りください。



3 元大関 琴奨菊が現役引退

11月15日、大相撲で活躍してきた琴奨菊関が約19年間にわたる現役を引退。年寄「秀ノ山」を襲名し、今後は後進の育成にあたります。柳川の名を全国に広め、本場所で1勝するたびに1万円を市に寄付するなど多大な貢献をしてくださいました。感謝の気持ちを込めて、市民文化会館のギャラリーで企画展を開催中です。「化粧まわし」や「着流し」も展示。ぜひご覧ください。

感動をありがとう



引退した琴奨菊関と祐未夫人

4 むつごろうランド グランドオープン

キャンプ場や宿泊棟、調理棟などを新設した「柳川 むつごろうランド」が春にグランドオープン。キャンプやバーベキューはもちろん、有明海でのくもで網やむっつけ体験も楽しめます。10月には「知事のふるさと訪問」で小川洋知事もむっつけに初挑戦しました。



6 「福岡有明のり」6年連続で豊作

平成26年度から6年連続で販売額110億円を超えるノリの豊作が続いています。昨シーズンは目標を上回る144億円を記録。今シーズンも期待が高まっています。



8 さげもんめぐりがダブル受賞

柳川の春を彩るさげもんめぐり。地域一体となった取り組みが高く評価され、2月に「全国商工会議所 きらり輝き観光大賞・特別賞」、3月に「ふるさとイベント大賞・優秀賞」のダブル受賞を果たしました。



10 ピアス跡地にシギヤマ家具進出

長年活用策を検討してきた大和町鷹ノ尾のピアス工場跡地。6月、大川市に本社がある「(株)シギヤマ家具工業」が進出することが決定しました。倉庫やアウトレット店、工場の建設が予定されています。

5 災害に強いまちづくり加速

市内で過去最多の24時間雨量(361.5mm)を記録した7月豪雨。近隣では甚大な冠水被害が発生しました。市は、平成24年の九州北部豪雨の経験を生かし、市民の協力で「先行排水」に取り組み冠水被害を軽減。また、高潮対策として平成5年から始まった昭代・大和地区の有明海堤防の補強整備が、11月に全て完了しました。自主防災組織づくりも着々と進んでいます。



7 みやま市との共同事業大きく前進

みやま市と共同の新火葬場「有峰苑みやま柳川」が、4月から運用開始。8月には新ごみ焼却処理場の工事が着工。広域行政の取り組みが着実に進んでいます。また、建設に併せて「可燃ごみ減量大作戦」に取り組んでいます。市民の皆さんのご協力をお願いします。



有峰苑みやま柳川

9 立花宗茂 知名度大きく向上

RKBラジオで放送された「加来耕三が柳川で大河ドラマをつくってみた」。2月の特別番組が「ギャラクシー賞・優秀賞」を受賞しました。また、10月にはNHKの人気番組「英雄たちの選択・プロが選ぶ最強の戦国武将」で立花宗茂公が九州ブロック1位に選出。知名度が大きく向上した1年となりました。



市観光大使の加来耕三さん